

# 知っておきたい 藤前干潟 ため知識

## ごみの埋め立て予定地だった!?

20世紀の末、名古屋市ではごみの量が増え続け、「このままだと埋め立て場所がなくなってしまう」と問題となりました。その時、ごみ埋め立て場の候補になったのが藤前干潟です。しかしそこは、渡り鳥の重要な中継地。自然保護の流れに応じ、自然を守ろうという市民の皆さんの声などによって、計画は中止されました。それ以来、市民・事業者・行政が協力して、ごみ減量に取り組んでいるのです。

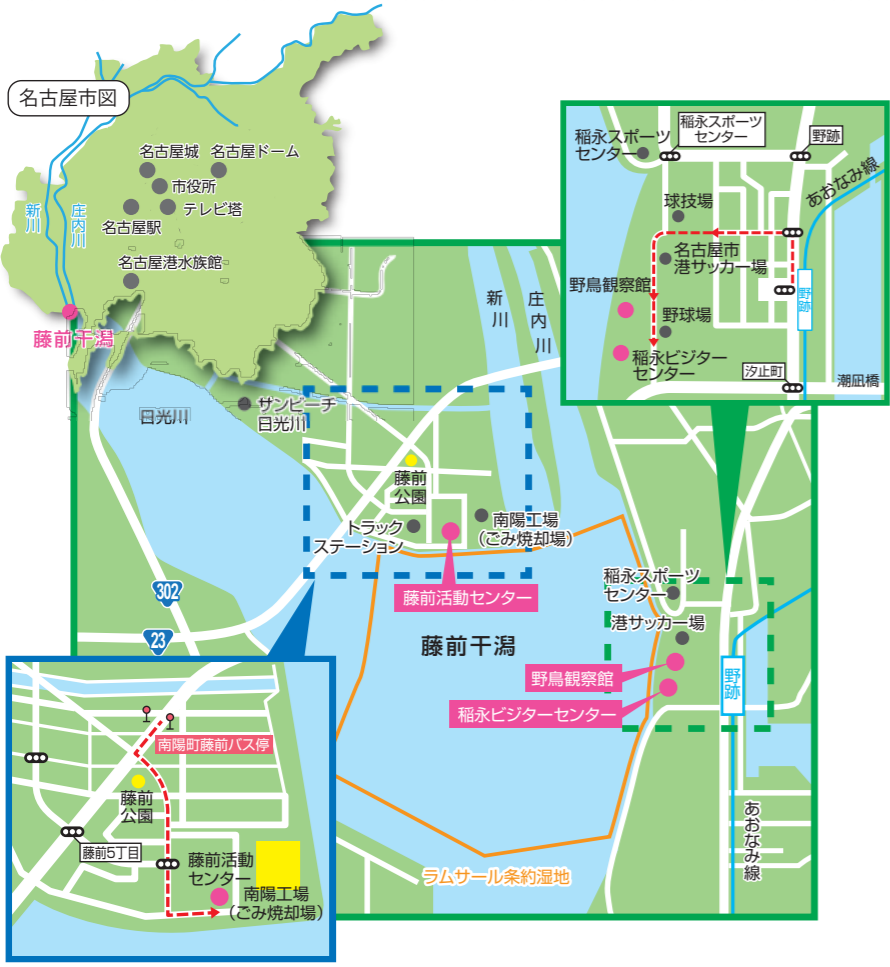


東アジア・オーストラリア地域  
フライウェイ  
(渡りのルート)



## 国際的に重要な渡り鳥の中継地

藤前干潟はラムサール条約に登録された国際的にも重要な湿地です。ラムサール条約とは、重要な干潟や湿地とそこにすむ動物や植物を世界のみんで守っていかうという約束のこと。1971年にイランのラムサールという町で行われた話し合いで決められたことからラムサール条約と呼ばれています。藤前干潟は2002年11月に登録されました。



### 名古屋市野鳥観察館

TEL: 052-381-0160  
交通: あおなみ線「野跡駅」で下車、徒歩15分  
市バス「野跡駅」で下車、徒歩15分

### 環境省稲永ビジターセンター

TEL: 052-389-5821  
交通: あおなみ線「野跡駅」で下車、徒歩15分  
市バス「野跡駅」で下車、徒歩15分

### 環境省藤前活動センター

TEL: 052-309-7260  
交通: 三重交通バス(サンビーチ日光川行き)  
「南陽町藤前」で下車、徒歩15分

- [3館共通]
- 開館時間: 9:00~16:30
  - 休館日: 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)  
第3水曜日(祝日の場合は第4水曜日)  
年末年始(12月29日~1月3日)
  - 入場料: 無料  
(団体利用については事前予約が必要です)

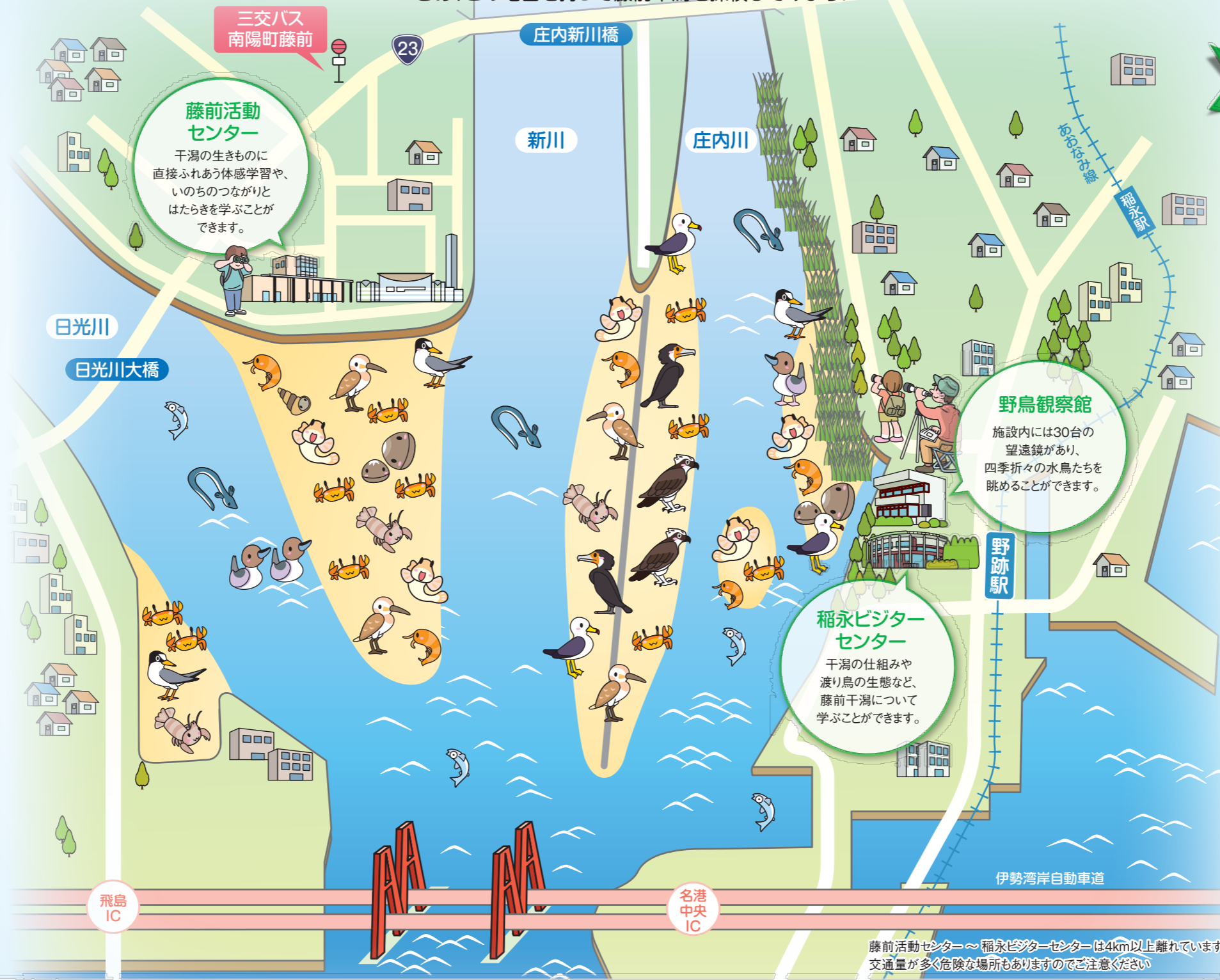




# 藤前干潟 四季の自然&見どころMAP

藤前干潟で見られる生きものは、季節によっても変わります。その季節ごとにどんな生きものがいて、どんな見どころがあるのか、分かりやすく地図にまとめてみました。

さあ、この地図を持って藤前干潟を探検してみよう!



**春** だんだんと暖かくなっていくのに合わせて、海の水が引き、干潟が広がります。春の日差しにキラキラと光る水面を吹き渡る風が心地よく、渡り鳥ウォッチングをするのには、最高の季節です。

**夏** 干潟の生きもの観察にぴったりの季節です。潮だまりの石の下にはどんな生きものがあるのかな？ 干潟の表面にできた大小の穴は、どんな生きものが作ったの？ 答えは自分の目で発見してみましょう。

**秋** さまざまな渡り鳥たちが、南半球への旅の途中に羽を休めに立ち寄ります。「藤前干潟クリーン大作戦！」に参加して海岸を少しでもきれいにしませんか。

**冬** 夜に大きく干潟が出るようになるこの季節。鳥たちは、夜の闇の中でもエサを食べています。鳥たちが冬を越すために、藤前干潟はとても大切な場所なのです。

## 守ろう!干潟のマナー

### 干潟に入る前に

干潟は渡り鳥やカニなど、生きものたちと触れ合える楽しいところですが、危険もあります。藤前干潟に入りたいという人は、必ず「藤前活動センター」(詳しくは裏面参照)におたずねください。

### 生きものたちの気持ちを考えて

干潟は生きものたちのすみかです。そっとおじゃまする気持ちで入りましょう。また、野鳥にエサをあげてはいけません。釣りをする時は、釣り糸などをそのままにせず、必ず後片付けをしましょう。

### 干潟で注意すること

干潟の中は気をつけて歩きましょう。泥の深みに足をとられたり、カキやフジツボで足を切ったりすることがあります。また、潮が満ちてきてとどろ残されないように注意しましょう。

## 藤前干潟で 出会える生きもの

- ハマシギ
- トウネン
- コアシサン 絶滅危惧種
- ヒドリガモ
- カワウ
- シロチドリ
- ミサゴ 撮影者:山添学
- チュウシャクシギ 撮影者:高須茂美
- トビハゼ 撮影者:達知恵吾 絶滅危惧種
- ヤマトオサガニ 撮影者:松本美朝
- アナジャコ
- ヤマトシジミ

※干潮時間を調べてから干潟に行くようにしましょう。  
 ※絶滅危惧種は「レッドデータブックなごや2015(名古屋市)」の評価によるものです。